

※※※※※※

御中

世田谷区奥沢 ※※邸

建築物石綿含有建材調査報告書

令和3年1月27日作成

調査会社

一般社団法人 建築物石綿含有建材調査者協会 正会員

株式会社アクアホーム

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-7

TEL 0422-27-6279 FAX 0422-27-6289

1. 調査概要



調査目的	☒ 解体工事に伴う現地調査 ☐ 建物維持管理における現地調査	
調査所在地	東京都世田谷区奥沢※※※※	
調査日時	令和3年1月24日 9：00～	
立会者	☐ 所有者本人 ☒ （仲介業者：株式会社〇〇様）	
調査者	株式会社アクアホーム 石綿建材調査者第20071027号 安保 貴史 ・ 大沢敬太郎 他3名	
調査条件	①事前調査の状況 間取り図、外観写真と工事履歴の把握	
	②工事の履歴 概要のみ聴取	
	③建物使用の状況 現在空き家	
	④その他	
調査方法	現地での目視及び疑義物質の検体採取、該当箇所の写真撮影	
添付書類	☒	2.現地調査総括票
	☒	3～5.個票
	☒	6.現地写真
	☒	7.石綿分析結果報告書・分析機関資料
	☒	8.石綿建材調査資格者の写真
	☐	
	☐	
	☐	

備考

2.現地調査総括票

は所有者記入箇所
・該当する選択肢を○で囲む、不明の箇所は「不明」と記入のこと
・石綿含有建材の事前調査結果の記録は40年間保管すること

自治体名	作成部署	連絡先	担当者名

■ 建築物の概要		作成日(令和3年1月26日) 最終回収日(令和 年 月 日)	
(1)建築物名称	世田谷区奥沢 木造住宅	(8)確認済証交付日・番号	平成12年12月 日付 第 号
(2)棟名称	なし	(9)検査済証交付日・番号	無し
(3)建築物所在地	東京都世田谷区奥沢※※※※	(10)増改築の履歴	増改築なし ・ 増改築あり(昭和 年 月)
(4)建築物用途	住宅	(11)建築物構造	□RC造 □S造 □SRC造 ■木造
(5)建築物所有者	※※		2階、PH - 階、B - 階 □耐火□準耐火■その他
(6)所有者住所	※※	(12)敷地面積	95.02 m ²
(7)連絡先(TEL)	※※ 氏名	(13)延べ床面積	129.46 m ²
調査者 記入欄	所有者へのヒアリングの有無 □有(令和 年 月 日) ■無	備考 (特記事項等)	2015年に内装リフォームの工事履歴あり

■ 所有者情報提供依頼概要		依頼日(令和3年1月15日) 回答日(令和3年1月15日)	
(14)石綿調査履歴	■未調査 □自主判断 □調査機関実施 □不明 その他:	(17)図面の有無	□図面有り ■図面無し
(15)調査機関実施の場合のみ記載	調査会社名 調査時期 平成 年 月 日 分析会社名	(18)図面有りの場合	□竣工図 □仕上表 □矩計図 □()
(16)調査報告書の有無	■無 □有(前回の調査報告書写しを本書に添付のこと)	(19)建築確認申請図書の有無	□有()図 ■無 竣工 平成12年12月
	調査者記入欄	(20)改修工事歴-1	□不明 ■改修工事(平成17年)
所有者へのヒアリングの実施の有無	□有(令和 年 月 日) ■無	(21)改修工事歴-2	□不明 □改修工事()
所有者から得られた情報で必要と思われる事項等		(22)石綿処理歴-1	□不明 ■無 □有 (施工日 ・ 方法)
		(23)石綿処理歴-2	□不明 ■無 □有 (施工日 ・ 方法)

■ 今回調査の概要			
調査日	令和3年1月24日() : 00 ~ : 00	調査者氏名	安保 貴史 登録番号 第20071027号
調査会社名	株式会社	分析会社名	環境保全株式会社
調査会社住所・TEL	東京都 野市 寺本 1-10-7	分析会社住所・TEL	東京都八王子市大和田町2-4-14

※調査会社は調査に関係する資格などあれば、調査者は調査者登録証を、分析会社は各種登録証、資格証、結果報告書その他の写しを本書に添付のこと

■ 今回調査箇所									
棟・階	部屋名	部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
外観		屋根	コロニアル	3	目視・採取	やや劣化			みなし石綿として処理
外観		外壁	塗料	1	目視・採取	やや劣化	含有なし		
1階・2階	廊下、居室	壁	石膏ボード	3	目視・採取	やや劣化	含有なし		
					目視・採取				
					目視・採取				
					目視・採取				
					目視・採取				
縦穴区画		部位	材料名	レベル	調査手法	劣化度	分析結果	参照頁	備考
例) PS階段、EVシャフト、・・・ ()		梁、柱、...	(注2)	(注3)	目視・採取	(注4)	有無、種別、含有量	個票頁数	現場の特異性等
()					目視・採取				
()					目視・採取				

(注1) ※本「記入例」においては、便宜的に部位欄の「天井」表記は天井仕上り材および天井裏の見上げ上階の床下も兼ねている。
(注2) 別添の「建材一覧表」から選定する。 ※本「記入例」は便宜的に仕上がり材料名を記している。
(注3) 想定されるレベルを必ず記載。レベルの定義は建設業労働災害防止協会編「石綿技術指针对応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」(平成24年12月22日)に掲載されている分類による。石綿含有建材ではない場合「-」と必ず記入する。
(注4) 「3.6.3石綿の劣化に関する記録」を参照し、判定する。

■ 今回調査できなかった箇所						
棟・階※	部屋名※	推定部位	推定材料名	調査できなかった理由	参照頁	備考

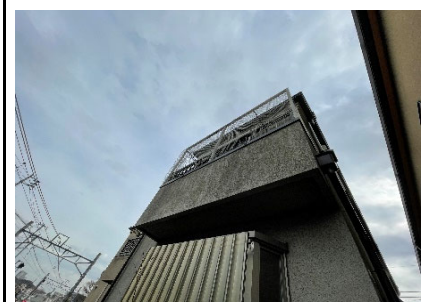
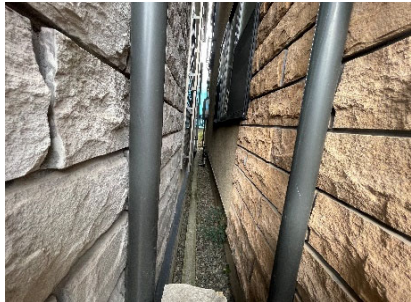
※ 今回調査箇所と同様に記載する。

■ 調査者から今後の維持・管理のためのアドバイス(石綿が検出された場合に記入)	
維持	
環境調査	
対策	
措置	
その他	

□ 自治体記載欄	

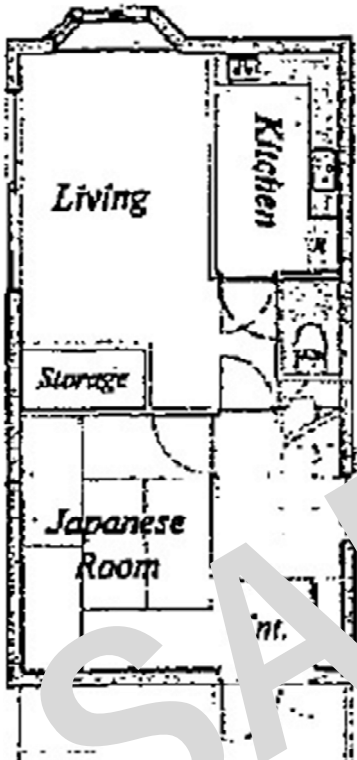
3.現地調査個票(外観)

階数	地上 2 階、地下-階		定礎	☐ 有 ☒ 無	〇年〇月竣工
構造	木造	外壁構造		モルタル・タイル	
備考		屋根構造		スレート	
メモ	北面は隣接ビルあり精査不能				



4.現地調査個票(建物内)

階数	1F	室名	下記参照	部位	下記参照	材料	下記参照	厚み		
劣化度		やや劣化							☐ 採取 ☐ 目視	
メモ	①									
	②									



リビング・廊下・キッチン

天井：PB+クロス ※②PB試料採取

壁：PB+クロス

床：フローリング

和室

天井：桧板

壁：ベニヤ+クロス

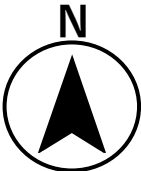
床：畳

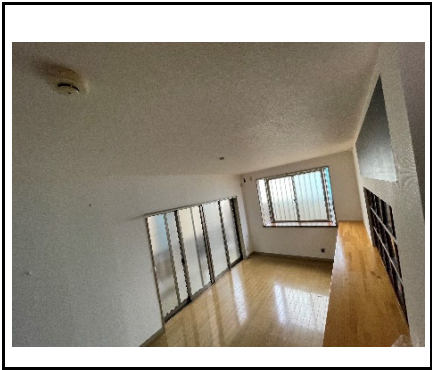
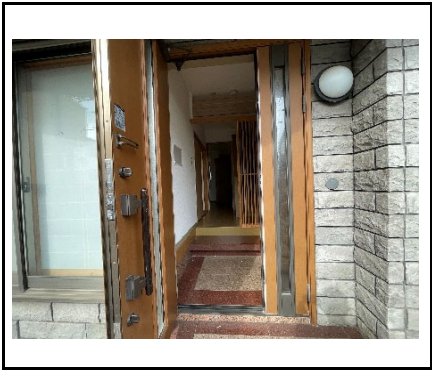
UB

天井：FRP部材

壁：FRP部材

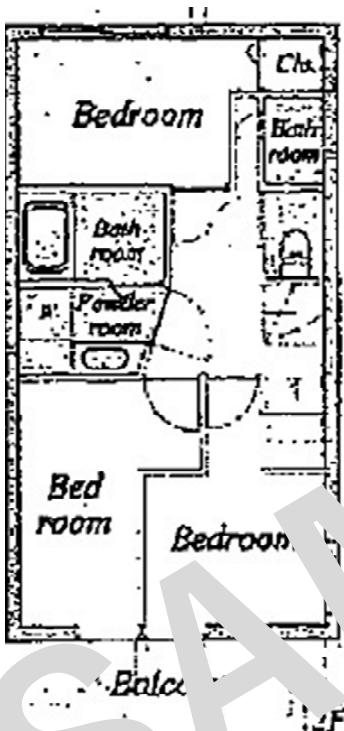
床：FRP部材





5.現地調査個票(建物内)

階数	2F	室名	下記参照	部位	下記参照	材料	下記参照	厚み		
劣化度		やや劣化							☒ 採取 ☐ 目視	
メモ	①									
	②									



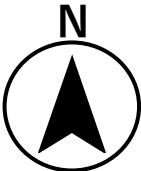
居室・廊下

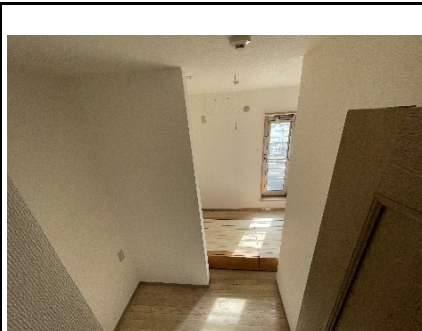
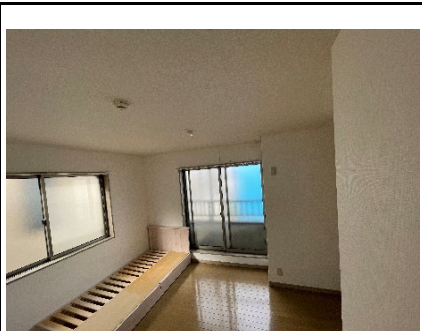
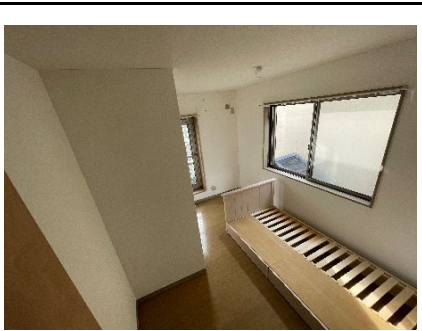
天井：PB+クロス

壁　：PB+クロス　　　※1Fより試料採取

床　：フローリング

備考：廊下に一部ビニール床が使用されているが、
2010年以降の工事のため、資料集からは除外





6.現地写真



発行番号： XXXXXXXXXX
発行年月日： XXXXXXXXXX

採取区分：受取

第1種作業環境測定士 石川 博久

記

[illegible]

(一般社団法人日本環境分析協会)

8.石綿建材調査資格証の写し

建築物石綿含有建材調査者講習修了証明書

安保 貴史

1977年11月20日生

証明書番号 神奈川1 第20071027 号

修了年月日 2020年7月16日

☒ 一般建築物石綿含有建材調査者

☐ 特定建築物石綿含有建材調査者

建築物石綿含有建材調査者講習登録規定(平成30年
厚生労働省・国土交通省・環境省告示第1号)第2条
第2項若しくは第3項の建築物石綿含有建材調査者講
習を修了したことを証する。

2020年7月16日

一般財団法人日本環境衛生センター
理事長 南川 秀樹



SAMPLE